テンプレート

# 1 見出し

## 1.1 見出し

### 1.1.1 見出し

#### 1.1.1.1 見出し

##### 1.1.1.1.1 見出し

###### 1.1.1.1.1.1 見出し

* リスト
* リスト
  + リスト
  + リスト

スペースを 2 つつければ改行できる

1 行空行を空けると[^1]別のパラグラフになる。

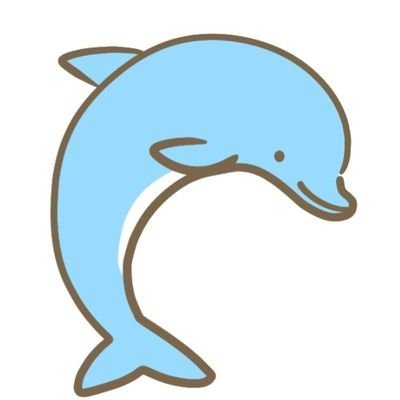


図 1: イルカ

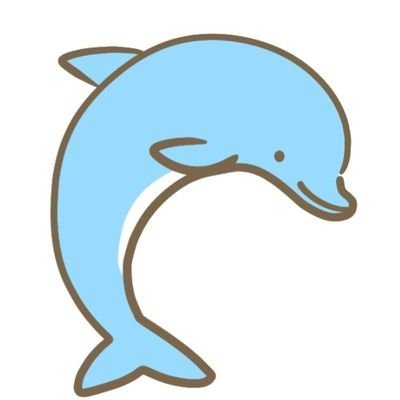


図 2: イルカ高さ調整

表 1: 表の例

|  |  |
| --- | --- |
| i | j |
| 1 | 3 |
| 2 | 2 |
| 3 | 6 |
| 4 | 5 |
| 5 | 1 |
| 6 | 4 |
| 7 | 2 |
| 8 | 6 |

表 2: 表の例2

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 列1 | 列2 | 列3 |
| ポカリスエット | 2 | 40 |
| アクエリアス | 2 | 21 |
| ダカラ | 3 | 8 |

この辺で改ページ

# 2 数式

## 2.1 インライン

テストテスト テストテストテストテスト テストテスト

## 2.2 ブロック

## 2.3 ギリシャ文字

# 3 ソースコード

コード 1: コード

.l-column{  
 flex: 0 1 $base-content-width;//横幅がbase-content-widthになり、他と比べて1縮む、拡大しない  
 max-width: $base-content-width;//最大幅を決める  
 margin: 0 auto;//左右に自動でマージンをとる。おそらくmax-widthより画面が大きい時の対策  
 padding: 0 $space-unit;//sectionborderからのpadding  
 @include mq-sp{  
 padding: 0 $sp-space-unit\*2;  
 width: auto;  
 }  
}  
.l-halfColumn{  
 flex: 1 0 0%;//1 0 0%と最後に%をつけないとpxとされてしまうバグがある  
 //0としておくことで、柔軟に拡大縮小される  
 //拡大分は1で、縮小分はもともと0なので問題なし  
 max-width: ($base-content-width - $column-space)/2;  
 margin-right: $column-space;  
 &:nth-child(even){//偶数個目の要素のmargin-rightをキャンセル  
 margin-right: 0;  
 }  
 @include mq-sp{  
 display: block;  
 flex: 1 1 100%;  
 max-width: none;//maxをなくしてかつflex-basisを100%にすることで画面幅いっぱいにする。  
 margin-right: 0;  
 }  
}  
});

# 4 参照

1. 図 1 イルカ
2. 図 2 イルカ高さ調整
3. 表 1 表の例1
4. 表 2 表の例2
5. 式 1 数式
6. コード. 1 コード

# 参考文献

{-} をつけるとこのセクションには見出しに通し番号がつかない。